

日本医療薬学会専門薬剤師認定試験試験範囲（出題ガイドライン）

医療薬学専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師（がん）、薬物療法専門薬剤師認定試験は、以下の項目から出題する。

I 医療と生命倫理

一般的評価：生命の尊さを認識し、臨床現場における生命倫理の重要性を理解している

I - A 生命倫理・医療倫理

- ・ 「生命の尊厳」について生命倫理の観点から概略を理解している
- ・ 「生命倫理の諸原則」について概略を理解している
- ・ 「医療倫理に関する規範」について理解している
- ・ 「科学技術の進歩、社会情勢の変改に伴う生命観の変遷」について理解している

I - B 医療における基本的人権の尊重

- ・ 「インフォームド・コンセント」について医療における基本的人権の尊重の観点から概略を理解している
- ・ 「ヘルシンキ宣言」について医療における基本的人権の尊重の観点から概略を理解している

I - C 薬剤師の役割と義務

- ・ 「薬剤師の活動分野（医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等）と社会における役割」について理解している
- ・ 「医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシューティカルケア」について理解している
- ・ 「医薬品の効果が確率論的であること」について理解している
- ・ 「医薬品の創製（研究開発、生産等）における薬剤師の役割」について理解している
- ・ 「健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割」について理解している
- ・ 「医薬物乱用防止、自殺防止における薬剤師の役割」について薬剤師の役割と義務の観点から理解している
- ・ 「医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務」について理解している
- ・ 「医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務」について理解している

II 疾病と病態

一般的評価：疾病の基本的事項、および身体の病的変化を病態とともに理解している

II - A 病態生理ならびに生化学

- ・ 「臨床検査値（生化学的検査、血液検査、心電図等）」について病態生理ならびに生化学の観点から概略を理解している
- ・ 「加齢と生理機能変化」について病態生理ならびに生化学の観点から概略を理解している
- ・ 「妊娠と生理機能変化」について病態生理ならびに生化学の観点から概略を理解している

II - B 精神・脳神経系疾患

- ・ 「てんかん」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「パーキンソン病／パーキンソン症候群」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「うつ病， 躁うつ病（双極性障害）」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「統合失調症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「不安神経症（パニック障害と全般性不安障害）、心身症、不眠症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「認知症」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - C 骨・関節疾患

- ・ 「骨粗しょう症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「関節リウマチ」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「変形性関節症」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - D 免疫疾患・炎症・アレルギー疾患

- ・ 「薬物アレルギー」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「花粉症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「アレルギー性皮膚炎， 蕁麻疹」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「アレルギー性結膜炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「アレルギー性鼻炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「アナフィラキシー」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「自己免疫疾患」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「後天性免疫不全症候群」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「ベーチェット病」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - E 心臓・血管系疾患

- ・ 「心不全」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「不整脈」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「虚血性心疾患（狭心症／心筋梗塞）」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「高血圧症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「脂質異常症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「脳卒中」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - F 腎・泌尿器疾患

- ・ 「糸球体腎炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「慢性腎臓病」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「急性腎障害」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「尿崩症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「ネフローゼ症候群」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「尿路感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「尿路結石」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「過活動膀胱」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「前立腺肥大症」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - G 産婦人科疾患

- ・ 「不妊症、異常妊娠、異常分娩」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「子宮内膜症、子宮筋腫」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - H 呼吸器疾患

- ・ 「気管支炎、上気道炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「間質性肺炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「気管支喘息」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、喫煙に関する疾患 (ニコチン依存症を含む)」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - I 消化器疾患

- ・ 「胃食道逆流症 (逆流性食道炎を含む)」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「胃炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「消化性潰瘍」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「肝炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「肝硬変」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「胆のう炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「胆管炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「胆石症、胆道炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「膵炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「便秘／下痢」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「偽膜性大腸炎、潰瘍性大腸炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「機能的消化管障害 (過敏性腸症候群を含む)」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎、クローン病等)」について疾病と病態の観点から概略を理解している

ている

- ・ 「痔」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「悪心・嘔吐」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - J 血液および造血器疾患

- ・ 「貧血（鉄欠乏性、再生不良性、溶血性等）」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「血小板減少性紫斑病」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「白血球減少症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「血友病」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「播種性血管内凝固症候群（DIC）」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「血栓塞血栓」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - K 感覚器疾患

- ・ 「緑内障」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「白内障」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「網膜症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「加齢性黄斑変性」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「味覚障害」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - L 耳鼻咽喉疾患

- ・ 「副鼻腔炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「扁桃炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「中耳炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「めまい（動揺病、メニエール病等）」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - M 内分泌・代謝疾患

- ・ 「糖尿病」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「甲状腺機能亢進症／低下症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「副腎皮質機能亢進症／低下症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「脂質異常症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「痛風・高尿酸血症」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - N 皮膚疾患

- ・ 「アトピー性皮膚炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「接触性皮膚炎」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「皮膚真菌症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「褥瘡」について疾病と病態の観点から概略を理解している

- ・ 「乾癬」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - O 感染症

- ・ 「細菌感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「抗酸菌症・結核」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「ウイルス感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「真菌感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「寄生虫感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「原虫感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している
- ・ 「性感染症」について疾病と病態の観点から概略を理解している

II - P 悪性腫瘍

- ・ 「悪性腫瘍：前立腺がん、子宮がん、卵巣がん、肺がん、食道がん、胃がん、肝がん、膵がん、大腸がん、乳がん、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、腎がん、膀胱がん、皮膚がん、頭頸部がん、脳腫瘍等）」について疾病と病態の観点から概略を理解している

III 薬物療法

一般的評価：患者指向の薬物療法について種々の観点から理解できる。また適正な薬物療法であるかを評価できる。

III - A 薬の生物作用の基本

- ・ 「薬の直接作用」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「薬の間接作用」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「薬の用量と作用の関係」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「PK/PD 理論」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「神経系と薬」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「ホルモン系と薬」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「免疫系と薬」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「遺伝子と薬」について薬物療法の観点から理解している

III - B 生体機能の調節と薬物

- ・ 「神経細胞の興奮と伝導、シナプス伝達の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「神経による筋収縮の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「オートコイドの生理活性および作用機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「サイトカイン、増殖因子の生理活性および作用機構」について薬物療法の観点から理解している

- ・ 「血圧の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「血糖の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「体液の調節機構・尿の生成機構、尿量の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「体温の調節機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「血液凝固・線溶系の機構」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「性周期の調節機構」について薬物療法の観点から理解している

III - C 薬の臓器への到達と消失

- ・ 「生体膜通過」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「吸収・分布・代謝・排泄」について薬物療法の観点から理解している

III - D TDM の意義

- ・ 「抗てんかん薬の TDM」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「循環器薬の TDM」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「免疫抑制薬の TDM」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「抗菌薬の TDM」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「抗悪性腫瘍薬の TDM」について薬物療法の観点から理解している

III - E 薬物動態の変動要因

- ・ 「生理的要因」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「遺伝的要因」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「病態的要因」について薬物療法の観点から理解している

III - F 薬物動態の解析

- ・ 「線形モデル」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「非線形モデル」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「生物学的半減期」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「クリアランス」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「分布容積」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「血中濃度-時間曲線下面積 (AUC)」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「平均滞留時間 (MRT)」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「医薬品の投与設計」について薬物療法の観点から理解している

III - G 生物学的利用能

- ・ 「初回通過効果」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「生物学的利用率」について薬物療法の観点から理解している

III - H 薬物相互作用

- ・ 「薬剤側影響因子（多剤併用、反復応用等）」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「生体側影響因子（遺伝、病態、年齢等）」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「外部環境因子（喫煙、環境等）」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「構造活性相関」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「漢方製剤との相互作用」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「民間薬との相互作用」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「サプリメントとの相互作用」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「食品および嗜好品との相互作用」について薬物療法の観点から理解している

Ⅲ - I 薬物療法

Ⅲ - I - 1 精神・脳神経系疾患

- ・ 「てんかん」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「パーキンソン病／パーキンソン症候群」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「うつ病， 躁うつ病（双極性障害）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「統合失調症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「不安神経症（パニック障害と全般性不安障害）、心身症、不眠症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「認知症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 2 骨・関節疾患

- ・ 「骨粗しょう症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「関節リウマチ」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「変形性関節症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 3 免疫疾患・炎症・アレルギー疾患

- ・ 「薬物アレルギー」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「花粉症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「アレルギー性皮膚炎， 蕁麻疹」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「アレルギー性結膜炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「アレルギー性鼻炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「アナフィラキシー性ショック」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「自己免疫疾患」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「後天性免疫不全症候群」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「ベーチェット病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 4 心臓・血管系疾患

- ・ 「心不全」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

- ・ 「不整脈」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「虚血性心疾患（狭心症／心筋梗塞）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「高血圧症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「脂質異常症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「脳卒中」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 5 腎・泌尿器疾患

- ・ 「糸球体腎炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「慢性腎臓病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「急性腎臓病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「尿崩症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「ネフローゼ症候群」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「尿路感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「尿路結石症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「過活動膀胱」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「前立腺肥大症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 6 産婦人科疾患

- ・ 「不妊症、異常妊娠、異常分娩」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「子宮内膜症、子宮筋腫」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 7 呼吸器疾患

- ・ 「気管支炎、上気道炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「間質性肺炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「気管支喘息」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喫煙に関する疾患（ニコチン依存症を含む）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 8 消化器疾患

- ・ 「逆流性食道炎（逆流性食道炎を含む）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「胃炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「消化性潰瘍」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「肝炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「肝硬変」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「胆のう炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「胆管炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「胆石症、胆道炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「膵炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

- ・ 「便秘症／下痢症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「偽膜性大腸炎、潰瘍性大腸炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「機能性消化管障害（過敏性腸症候群を含む）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病等）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「痔」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「悪心・嘔吐」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 9 血液および造血器疾患

- ・ 「貧血（鉄欠乏性、再生不良性、溶血性等）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「血小板減少性紫斑病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「白血球減少症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「血友病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「播種性血管内凝固症候群（DIC）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「血栓塞血栓」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 10 感覚器疾患

- ・ 「緑内障」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「白内障」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「網膜症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「加齢性黄斑変性」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「味覚障害」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 11 耳鼻咽喉疾患

- ・ 「副鼻腔炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「扁桃炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「中耳炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「めまい（動揺病、メニエール病等）」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 12 内分泌・代謝疾患

- ・ 「糖尿病」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「甲状腺機能亢進症／低下症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「副腎皮質機能亢進症／低下症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「脂質異常症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「痛風・高尿酸血症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 13 皮膚疾患

- ・ 「アトピー性皮膚炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「接触性皮膚炎」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「皮膚真菌症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「褥瘡」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「乾癬」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 14 感染症

- ・ 「細菌感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「抗酸菌症・結核」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「ウイルス感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「真菌感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「寄生虫感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「原虫感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「性感染症」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - I - 15 悪性腫瘍

- ・ 「がん性疼痛」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「がんの支持療法」について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「造血幹細胞移植」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している
- ・ 「悪性腫瘍：前立腺がん、子宮がん、卵巣がん、肺がん、食道がん、胃がん、肝がん、膵がん、大腸がん、乳がん、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、腎がん、膀胱がん、皮膚がん、頭頸部がん、脳腫瘍等」の薬物療法について薬理作用の観点から理解している

Ⅲ - J 医薬品の適正使用

- ・ 「医薬品の選択と使用」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「麻薬の適正使用」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「医薬品の原則禁忌」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「医薬品の併用禁忌、併用注意」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「薬剤耐性」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「医薬品情報」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「服薬指導」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「患者情報」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「投与不可（禁忌等）の患者」について医薬品の適正使用の観点から理解している

Ⅲ - K 医薬品の安全性

- ・ 「有害事象と副作用」について医薬品の適正使用の観点から理解している
- ・ 「副作用発現回避の方法」について薬物療法の観点から理解している

- ・ 「急性薬物中毒」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「生体障害誘発薬（肝臓障害、腎障害、循環器系障害、神経・感覚障害、皮膚障害、血液障害、呼吸器系障害、発生・生殖器障害等）」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「妊婦・授乳婦に対する安全性」について薬物療法の観点から理解している

Ⅲ - L 医療の中の漢方薬

- ・ 「代表的な薬用植物の学名、薬効部位、薬効成分」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「現代医療における漢方薬の役割」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「漢方薬の代表的な副作用や注意事項」について薬物療法の観点から理解している
- ・ 「陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証」について薬物療法の観点から理解している

Ⅳ 調剤と医薬品の管理

一般的評価：薬剤師の基本的業務を理解している

Ⅳ - A 処方せん調剤・鑑査・疑義照会

- ・ 「処方解析（疾患と処方、処方薬の作用機序、併用薬の意図等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「処方せん記載内容点検（処方せんの記載事項等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「麻薬処方せんの取り扱い（記載事項、保管管理等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「薬歴の確認」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「調剤薬の特定（薬名、規格単位、略号、略名等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「用量（標準用量、小児用量、高齢者用量等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「用法（服用回数・時期、用法指示等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「重複投与・相互作用（併用禁忌、併用注意等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「処方医への疑義照会」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「配合変化（配合注意・配合不適、配合不可等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

Ⅳ - B 調剤の実際

- ・ 「調剤の概念」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「劇薬・毒薬の取り扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

- ・ 「薬袋の作成」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「計量器の取り扱い・電子天秤の取り扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「計量散剤の調剤手順・散剤の物性について薬剤師の基本的業務の観点から理解している」
- ・ 「散剤」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「錠剤の粉碎」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「1回量調剤」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「軟膏剤の混合」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「麻薬の調剤」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「細胞毒性のある医薬品の取り扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「医薬品の貯法と保管」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「調剤薬の鑑査」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「調剤過誤への対策と発生時の対応」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「処方オーダーリングシステム」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

IV - C 注射剤・輸液の取り扱い

- ・ 「注射剤・輸液の処方意図の理解」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤・輸液の混合調製」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤投与の基本」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「電解質・輸液濃度の計算・補正」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「中心静脈栄養療法用輸液」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「輸血用血液製剤・血漿分画製剤」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「細胞毒性のある注射剤の取り扱いと患者への説明」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤の廃棄」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「放射性医薬品の取り扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「診断用医薬品の取り扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

IV - D 注射剤の無菌的混合調製

- ・ 「注射剤の無菌的混合に使用する器材類の取扱い」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤の無菌的混合の操作」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤の異物・微生物汚染の原因」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤調剤時における異物・微生物汚染の回避法」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「注射剤の異物検査法」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

IV - E 医薬品の管理

- ・ 「麻薬の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「向精神薬の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「覚せい剤の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「毒薬の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「劇薬の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「毒物の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「劇物の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「生物学的製剤の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「血液製剤の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「放射性医薬品の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「その他特別な管理を必要とする医薬品の管理」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している
- ・ 「医薬品の品質管理と確保（有効期限、使用期限等）」について薬剤師の基本的業務の観点から理解している

V 医薬品情報

一般的評価：薬物は情報を伴ってはじめて医薬品となることを理解している

V - A 医薬品情報の収集

- ・ 「情報の収集」について薬剤師の基本的業務の観点から概略を理解している
- ・ 「情報の評価」について薬剤師の基本的業務の観点から概略を理解している
- ・ 「情報の加工」について薬剤師の基本的業務の観点から概略を理解している

V - B 情報源の理解と評価

- ・ 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料の分類について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業などの発行する資料について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 承認審査報告書の構成について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医療法に基づいた医薬品安全管理の仕組みを医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 患者申出療養を含む保険外併用療養費制度の仕組みを医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品リスク管理計画について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能又は効果、用法及び用量、重

要な基本的注意など) について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している

- ・ 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 最適使用推進ガイドラインについて医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品情報の信頼性、科学的妥当性などを評価する際に必要な基本的項目について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点について医薬品の適正使用の観点から概略を理解している

V - C EBM の意義

- ・ 「EBM の基本概念と有用性」について薬物療法の評価の観点から理解している
- ・ 「EBM の実践」について、薬物療法の評価の観点からそのプロセスを理解している
- ・ 「臨床研究のデザイン(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)」について薬物療法の評価の観点から理解している
- ・ 「メタアナリシスの概念とその結果」について薬物療法の評価の観点から理解している
- ・ 「エンドポイントの概念とその意義」について薬物療法の評価の観点から理解している
- ・ 「臨床適用上の効果指標(オッズ比、治療必要数、相対危険度など)」について薬物療法の評価の観点から理解している

V - D 医薬品の承認申請・審査・承認・市販後・再評価

- ・ 「医薬品の承認申請」に向けたルール(GLP、GCP、GMP 等を含む)および、適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 「市販後調査」に向けたルール(GPSP、GVP 等を含む)および、適正使用の観点から概略を理解している
- ・ 「再審査」に向けたルールおよび、適正使用の観点から概略を理解している

VI 患者への服薬指導

一般的評価: 患者指向の薬剤師業務の展開について理解している

VI - A 服薬指導・患者教育

- ・ 「服薬コンプライアンス」について患者指向の観点から理解している
- ・ 「服薬アドヒアランス」について患者指向の観点から理解している

- ・ 「必要な患者情報の聞き取り」について患者指向の観点から理解している
- ・ 「問題指向型システム (POS)」について患者指向の観点から理解している
- ・ 「薬歴作成と患者への服薬法・使用法の説明」について患者指向の観点から理解している
- ・ 「特殊な患者への服薬説明 (高齢者、小児、妊婦、がん患者・精神疾患患者への服薬説明等)」について患者指向の観点から理解している
- ・ 「入・退院時の服薬指導」について患者指向の観点から理解している

VI - B 患者指向の個別化薬物療法

- ・ 薬物の主作用および副作用に影響する代表的な遺伝的素因について、薬物療法の観点から理解している
- ・ 薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因 (薬物代謝酵素・トランスポーターの遺伝子変異など) について、薬物療法の観点から理解している
- ・ 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、薬物療法の観点から理解している
- ・ 低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 高齢者における薬物動態と、薬物治療について、薬物療法の観点から理解している
- ・ 腎疾患・腎機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 肝疾患・肝機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 心臓疾患を伴った患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 薬物の効果に影響する生理的要因 (性差、閉経、日内変動など) を薬物療法の観点から理解している
- ・ 妊娠・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 栄養状態の異なる患者 (肥満、低アルブミン血症、腹水など) における薬物動態と、薬物治療で注意すべき点を薬物療法の観点から理解している
- ・ 個別の患者情報 (遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など) と医薬品情報をもとに、薬物治療を計画・立案できる
- ・ コンパニオン診断にもとづく薬物治療について、薬物療法の観点から理解している

VI - C クリニカルパス

- ・ 「効率的治療」について患者指向の観点から概略を理解している

VI - D チーム医療

VI - D - 1 診療チーム

- ・ 「感染対策チーム (ICT)」、「抗菌薬適正使用支援チーム (AST)」について質の高い医療への貢献

の観点から概略を理解している

- ・ 「栄養管理チーム (NST)」について質の高い医療への貢献の観点から概略を理解している
- ・ 「褥瘡管理チーム」について質の高い医療への貢献の観点から概略を理解している
- ・ 「疼痛緩和ケアチーム」について質の高い医療への貢献の観点から概略を理解している
- ・ 「禁煙支援チーム」について質の高い医療への貢献の観点から概略を理解している

VI - D - 2 地域におけるチーム医療

- ・ 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制（地域包括ケア）およびその意義について理解している
- ・ 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有について薬剤師としての観点から理解している

VII 製剤

一般的評価：医薬品の用途に応じた適切な剤形で調製するための、製剤の種類、有効性、安全性、品質、利便性について基本を理解している

VII - A 製剤の基礎と製剤化のための修飾

- ・ 「製剤材料の性質」について製剤の観点から理解している
- ・ 「安定性に影響する要因」について製剤の観点から理解している
- ・ 「粒子・粉体の性質」について製剤の観点から理解している
- ・ 「固形剤・半固形剤の性質」について製剤の観点から理解している
- ・ 「分散系とその安定性」について製剤の観点から理解している
- ・ 「プロドラッグ」について製剤の観点から理解している
- ・ 「アンテドラッグ」について製剤の観点から理解している
- ・ 「薬液の pH と浸透圧」について製剤の観点から理解している

VII - B 各製剤の製法と試験

- ・ 「日本薬局方通則と製剤総則」について製剤の観点から理解している
- ・ 「製剤関連の一般試験法と容器試験（日本薬局方）」について製剤の観点から理解している
- ・ 「錠剤・カプセル剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「散剤（散，細粒，顆粒剤）」について製剤の観点から理解している
- ・ 「経口服液剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「外用液剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「点眼剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「軟膏剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「坐剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「注射剤」について製剤の観点から理解している

VII - C 製剤材料と医薬品添加物

- ・ 「基剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「安定剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「防腐剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「溶解剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「賦形剤」について製剤の観点から理解している
- ・ 「乳化剤」について製剤の観点から理解している

VII - D 薬物送達システム (DDS)

- ・ 「コントロールドリリース (放出制御)」の有用性と概念を理解している
- ・ 「ターゲティング (標的指向化)」の有用性と概念を理解している
- ・ 「吸収改善」の有用性と概念を理解している

VIII 創薬と育薬

一般的評価：医薬品創製の基礎的、臨床的プロセス、育薬ならびに社会的重要性について理解している

VIII - A 医薬品の開発・評価・生産

- ・ 「医薬品開発の歴史」について医薬品創製の観点から概略を理解している
- ・ 「医薬品開発の流れ」について医薬品創製の観点から概略を理解している
- ・ 「繁用医療用語」について医薬品創製の観点から概略を理解している
- ・ 「リード化合物の創製と最適化」について医薬品創製の観点から概略を理解している
- ・ 「バイオ医薬品とゲノム情報」について医薬品創製の観点から概略を理解している

VIII - B 非臨床試験

- ・ 「効力を裏づける試験」について医薬品創製の観点から理解している
- ・ 「一般薬理試験」について医薬品創製の観点から理解している
- ・ 「薬物動態試験」について医薬品創製の観点から理解している
- ・ 「毒性試験」について医薬品創製の観点から理解している
- ・ 「医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準 (GLP)」について医薬品創製の観点から理解している

VIII - C 治験・臨床研究

- ・ 「医薬品の臨床試験の実施の基準 (GCP)」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「治験審査委員会」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「臨床研究コーディネーター (CRC)」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している

る

- ・ 「ランダム化二重盲検比較試験」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「日米EU医薬局規制調和国际会議 (ICH)」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「モニタリング」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「監査」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「ヘルシンキ宣言」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「インフォームド・コンセント」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「保険外併用療養費制度」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「医師主導の治験」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している
- ・ 「特定臨床研究」について適正な臨床試験実施の観点から概略を理解している

VIII - D 行政への申請

- ・ 「新薬承認情報集」について適正な医薬品製造の観点から概略を理解している
- ・ 「医薬品の製造管理及び品質管理の基準 (GMP)」について適正な医薬品製造の観点から概略を理解している
- ・ 「医薬品の品質管理の基準 (GQP)」について適正な医薬品製造の観点から概略を理解している

VIII - E 製造販売後調査

- ・ 「一般使用成績調査」について医薬品の適正使用情報の収集の観点から概略を理解している
- ・ 「特定使用成績調査」について医薬品の適正使用情報の検出又は確認の観点から概略を理解している
- ・ 「使用成績比較調査」について医薬品の適正使用情報の検出又は確認の観点から概略を理解している
- ・ 「製造販売後データベース調査」について医薬品の適正使用情報の検出又は確認の観点から概略を理解している
- ・ 「製造販売後臨床試験」について医薬品の適正使用情報の検出又は確認の観点から概略を理解している

IX 薬学と社会

一般的評価：公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障する仕組みを理解している

IX - A 薬剤師を取り巻く法律と制度

- ・ 「医薬品医療機器等法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「薬剤師法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「医師法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「医療法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「健康保険法」について薬剤師としての観点から理解している

- ・ 「介護保険法」について薬剤師としての観点から理解している

IX - B 医薬品を取り巻く法律と制度

- ・ 「麻薬及び向精神薬取締法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「覚せい剤取締法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「毒物・劇物取締法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「あへん取締法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「大麻取締法」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「取扱いに講習会や登録など特別な条件が必要な医薬品」について、薬剤師としての観点から理解している

IX - C 社会保険制度と薬剤経済

- ・ 「国民医療費の動向」について薬剤師としての観点から概略を理解している
- ・ 「保険医療と薬価制度」について薬剤師としての観点から概略を理解している
- ・ 「診療報酬と薬価基準」について薬剤師としての観点から概略を理解している
- ・ 「出来高払いと包括化 (DPC)」について薬剤師としての観点から概略を理解している
- ・ 「薬剤使用評価 (DUE)」について薬剤師としての観点から概略を理解している
- ・ 「処方箋」について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 「後発医薬品の使用」について薬剤師としての観点から概略を理解している

IX - D 在宅医療

- ・ 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務（訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務等）について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりについて薬剤師としての観点から理解している
- ・ 在宅患者の病状（症状、疾患と重症度、栄養状態等）とその変化、生活環境等の情報収集と報告について薬剤師としての観点から理解している

IX - E プライマリケア、セルフメディケーションの実践

- ・ 現在の医療システムの中での疾病予防、健康維持増進、プライマリケア、セルフメディケーションの重要性について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 代表的な症候（頭痛・腹痛・発熱等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 代表的な症候に対する薬局製剤（漢方製剤含む）、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱い

いについて薬剤師としての観点から理解している

- ・ 代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスについて薬剤師としての観点から理解している
- ・ 薬局製剤（漢方製剤含む）、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器、医薬部外品、化粧品等を適切に取り扱い、管理について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、来局者の病状（疾患、重症度等）や体調を推測について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 来局者に対して、病状に合わせた適切な対応（医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等）について薬剤師としての観点から理解している

IX - F 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）

- ・ 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動（薬物乱用防止、自殺防止、アンチドーピング活動等）について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 学校薬剤師の業務について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 地域住民の衛生管理（消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防等）における薬剤師活動について薬剤師としての観点から理解している

X 医療安全

一般的評価：患者の安全性を確保するため、医療安全の基本的な考え方を理解している

X - A リスクマネジメント

- ・ 「医薬品の安全使用」について患者や組織・地域に対するリスク管理の観点から理解している

X - B プレアボイド報告

- ・ 「副作用の初期症状」についてリスク管理の観点から理解している
- ・ 「副作用発現未然回避」についてリスク管理の観点から理解している

XI 災害時医療と薬剤師

- ・ 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について薬剤師としての観点から理解している
- ・ 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について薬剤師としての観点から理解している

XII 薬剤師としての職能教育

一般的評価：卒前および卒後教育の充実が質の高い薬剤師職能の育成につながることを理解している

XII - A 教育方法

- ・ 「問題指向型学習 (PBL)」について概要を理解している
- ・ 「アクティブ・ラーニング」の特徴を理解している
- ・ 学習目標の適した教育方法と評価について、概要を理解している

XII - B 卒前教育

「実務実習」が質の高い薬剤師職能の育成につながることを理解している

XII - C 卒後教育

- ・ 「研修制度」が質の高い薬剤師職能の維持・向上につながることを理解している
- ・ 「生涯学習」が質の高い薬剤師職能の維持・向上につながることを理解している

XIII 医療薬学関連英語

一般的評価：海外の医療薬学関連情報を収集・理解できる

- ・ 「英文雑誌」や「単行本」から医療薬学情報を収集し、理解できる
- ・ 「英語繁用略語」について把握している

XIV 医療系薬学研究

一般的評価：医療系薬学研究を実践することが、医療の進歩と改善につながることを理解している。

XIV - A クリニカル・クエスションとクリニカル・リサーチ

- ・ 医療系薬学研究の中心はクリニカル・クエスションを解決するクリニカル・リサーチにあることを理解している

XIV - B 研究活動の実践

- ・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の概略を説明できる
- ・ 臨床研究法で定められる特定臨床研究について説明できる
- ・ 医療系薬学研究の実践方法を理解できる